

# 議会報告会報告書

平成27年7月22日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

B 班

代表 下瀬俊夫

平成27年6月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

## 記

### 1 開催日時

平成27年 7月22日 ( 水 ) 19:00～19:50

### 2 開催場所

本 山 公 民 館

### 3 参加人数 (市民)

2 人

### 4 担当班議員名

(大井淳一郎) (笹木 慶之) (下瀬 俊夫) (杉本 保喜)  
(中村 博行) (石田 清廉)

### 5 報告会次第

(1) 市議会議長挨拶

(2) 6月議会の報告

① 総務文教常任委員会 (笹木 慶之) [司会] (大井淳一郎)

② 民生福祉常任委員会 (下瀬 俊夫) [記録] (笹木 慶之)

③ 産業建設常任委員会 (杉本 保喜) [受付] (石田 清廉)

④ 一般会計予算決算常任委員会 (中村 博行)

(3) 質疑応答

## 6 主な質問・意見・提言

- ① 私たちは、建設される火葬場を利用することになる。自然にゆっくりと利用できる様なものが良い。お金をかければ良いと言うものではない。(新国立競技場に関する発言) 市は必要なものは造るが、それ以外のものは質素儉約してやってもらいたいし、市議会もその方針で対応してほしい。

[回 答]

火葬場は地域にとって従来から迷惑施設であるという考えがあるが、アンケート調査では、8割が市内に建設を希望された。しかし、執行部の住民対応が十分ではなく、もっと開かれた施設にすべきではないかなど少し執行部と議会の意見が異なる。今後もしっかり意見交換をしていきたい。

- ② 山口大学はこの度、大学所有の特許を3年間無償で貸し出す方針を決定した。市内においてそれを活用して事業に取り組みたいという企業があるか。また、市及び議会にその活用の動きがあるかどうか。

[回 答]

まだ、発表されて間もないのでその具体的な動きはないが、今後、大学と企業においてそのような動きが出てきた場合には、市が取り持ちを行うことになるし、中小企業振興基本条例の推進計画の中で対応していくことになると思う。

- ③ 山口東京理科大の公立化の問題は、市にとって大きな課題であるし、将来に亘って大丈夫か心配だ。まず、山陽小野田市程度で他に例はあるか。

[回 答]

まず、約6～7万人の市で公立大学を運営している所は、私は認識していない。市と大学との関わりについて特別委員会で侃侃諤諤<sup>かんかんがくがく</sup>議論した。財政的負担など将来に禍根を残すことになりはしないか。反面、大学を活用した施策の取り組みにより市の発展に繋げること等が考えられる。

- ④ 経営はうまくいっているのか、市との関わりは。

[回 答]

市長から「市の一般財源を大学運営に持ち出すことはない」と説明された。国から大学運営に関して交付金が交付される。公立では学生一人当たり工学部175万円、薬学部200万円程度の国費が使われ、学生の学費負担は私立の場合の約半額(年56万円程度)となり、保護者負担は大きく軽減される。

- ⑤ 大学運営に関し、市との関係はどのようになるのか。

[回 答]

大学には、理事長、副理事長及び理事を置くことになる。理事長は市長が任命し、副理事長は選考委員会の選考に基づき理事長が任命し、学長を兼ねる。さらに、大学運営に当たっては、経営と教育に関する重要事項を審議する審議会を置くことになっている。

大学運営にあたっては、「企業は人なり」であり、関係者の適切な判断とたゆまぬ努力が強く求められる。

なお、昨日東京理科大に関する3議案について特別委員会が賛成多数で可決した。